



西原は 目指す

- ・業務部(学生募集・管理)
- ・担当: タイ・ロシア

Q. 新入生が入学してくる時期ですね。

A. 夢を持って来ている子達なので、入学式のたびに新鮮に感じます。

Q. 学生と接する時に思っていることは？

A. 自分の子供と同じくらいの年齢なので生活に困っているのを見過ごしてはいけなかな...とってしまいます。どちらかという親目線になっちゃっていますよね。

Q. 業務部の雰囲気は？

A. 外国人のスタッフもいますが、経験の豊富なスタッフなので、仕事面に関しては心配はありません。チームワークは大切だと思うので、その部分で意見の食い違いがないようにしていきたいと考えています。

Q. 業務部に来る相談内容はどんなものが多いですか？

A. 健康に関することが多いですね。あとは外国から留学院を通しての問合せなど。入学前の細かな疑問にも、他の部署に確認するなどして返答をすることを心掛けています。

Q. 学校で健康診断を行っていますね。

A. 自分のこと(健康)を管理する上でいい機会だと思います。日本に勉強に来ている上で、健康な状態で勉強してほしいですからね。

Q. 普段の業務で心掛けている事は？

A. 先生方が学生に親身になってサポートしてくれているので、業務部ではあえて厳しい事を言わなきゃという場面もあります。成績や出席率は後々その本人に返ってくるもの。その時は学校生活の忙しさや楽しさで忘れてしまいがちな部分は本人が後から困らないように、厳しい事でもあえてきちんと伝えます。あと、やり過ぎてしまわないように調整を...。これから大学や専門学校など、自分たちの道に進む子が多いので、日本で生活していく以上は自分でやらなきゃならないことはあるわけで、ある程度は学生さんの自主性に任せて、サポートするというのも業務部の仕事なのかなと。日本語学校にいる間に出席率が大切な事はもちろんですが、将来的にもすごく重要なこと。そこは自分たちが言い続けなきゃいけない部分でもあるのかなと思います。

Q. 仕事での楽しさ、喜びは？

A. 卒業式や、卒業した学生さんが遊びに来てくれた時や、入学式で目の輝いた子達を見たときは、「いい仕事だなあ」って思いますね。

Q. この学校のいいところは？

A. 先生の学生に対する気持ち。進学率など色々ないいところはあるけど、先生と学生の距離感がいい。

Q. 表参道でおすすめのお店は？

A. 海鮮問屋です！

Q. 今後の日本語学校は？

A. 日本語学校に求められるものが変わってきていると思います。教務部、業務部でよく話して、共有し、学生をサポートすることももちろんですが、社会における日本語学校、先生方、留学生の地位を高める事も今後大切な課題だと思います。